



東 北 方 面

市街路さへ儘ならぬに

魂消る程の大事業

宮城縣志田郡鹿島臺驛から遠田郡南郷村砂山に通ずる道路、約一里三町を全部コンクリート舗道とする計畫を樹て、其の工費約二十五萬圓を豫算に計上してゐるが、何しろ東北一の大都市仙臺でさへ、市街路の修理完成を見ざる今日農村に於てこの大計畫は魂消えるばかりの事業であるが、管内唯一の豪農村たる南郷村が巨額を出資する

地 方 通 信

意嚮を有し、村治の神機、鎌田鹿島臺村長が力齎を入れての仕事であるから、容易く實現するであらう。而して工費約十六萬圓を要する鳴瀬川の鐵橋が大物として注目されてゐる。

蟹町停車場高城間の

新道開鑿問題行惱む

宮城縣松島高城街裏の蟹田驛の實現と共に高城よりの道路を如何に開通しやうかとの問題は、人知れず争闘を續けられてゐるが、多年名勝地帯に位しながら毫も之が悪澤に潤ふことない同地としては、五歩三步

の我田的争ひも、實生活に立脚した重大な問題かも知れぬが、第三者側の眼から見るに、餘りに男氣ないもの、様である、仄聞するに新町側は、馬檢場前を極力主張し又町會議員にして、自家軒先から新街道開鑿論を主張する者もあり、一方本町區民は中央地點なる湯屋歸命院横丁直通の往還説を主張し、この論議はてしなき形勢にあるが、蟹町驛の實際化は町のために當に早天の潤雨であるから、自分勝手の利慾を棄て町中央の歸命院横丁の貫通道路に依ることに圓滿解決すべき問題であるといふことに町の大勢は定まりさうである。

妥協漸く成る、

中心點の新町に決す

宮城縣高城町からこれが驛前に通ずる道路問題で猛烈な争奪が行はれてゐたが、漸く妥協成り結局當往還であり、且街の中心點に近い、新町に設けることに一決したが

尚ほ本町を中心として更に一條の道路を開鑿して町の便宜を計るべく、寄々協議中である。

廣瀨石巻道路の

改修を喜ぶ村民

宮城縣桃生郡廣瀨村から砂押原移住民部落を經由し、石の巻に通ずる府縣道は目下改修工事中であるが、同地は廣瀨沼開墾事業進展に依つて、米穀搬出上樞要道路となり路面の破壊その極に達し駄馬、荷馬車の交通繁激を加へるにつけ非常な不便をなめてゐたが、今回の改修に依つて根本から其の不便を除去される事になり、關係地地方は何れも感謝してゐる。

道路保護組合、吉田村て組織

宮城縣黒川郡吉田村は村道延長三十里餘を有する村であるが、完全な改修工事を行ふとすれば、到底村財政が許さないので、各

區毎に道路保護組合を設置し、各受持區域を分擔して改修し、最も完全なる組合に村長から賞與金を下附することに協議を纏め本年度から實行することとなつたが、獨り道路問題に止まらず地方自治的觀念養成上適切なる方法である。

富谷、仙臺線愈々改修に着手

郡廢と同時に府縣道に編入されて以來殆んど無改修のまま、放任されてあつた、宮城縣黒川郡富谷村西成田明石を経て、七北田に通ずる道路は今回地方民の熱誠と吉田縣會議員の盡力に依り、いよいよ改修工事を施行することとなり、去る十二日土木課にて入札執行の結果、伊藤誠造氏、布施徳兵衛氏へ落札し不日着工することとなつた。

關 東 方 面

道路擴張張竣工開通式

東京府豊多摩郡中野町地内、青梅街道を起點とし、同北豊島郡板橋町に通ずる、府縣道第四五號中野板橋線は其の中間に省線東中野驛を挟んで、交通上重要な路線なるにも拘らず、舊來の幅員は僅かに二間に過ぎないので、車輛の交通に支障を來し、地方民は多年之れが改修を當局に向つて請願し來つたが、府に於ても其の交通狀勢に鑑みて、青梅街道より延長五百九十三間の箇所を大正十四年度より昭和二年度に至る三ヶ年の繼續事業として、事業費總額二十八萬三千餘圓を計上して改修に着手せられたが、幸ひ工事は順調に進捗して去る三月九日竣工したので、町當局は沿線關係地主に圖り、協賛會を組織して同月廿一日午前十時から同沿線に於て開通祝賀式を開催した。定刻振鈴と共に、來賓知事代理を始め片山府會議長、淺倉府會郡部會議長、郡部選出府會議員、郡下町村長、町内關係名譽職及町内有志、並に協賛會員を合せて三百

餘名列席、協賛會長の式辭、東京府淀橋土木出張所長の工事報告、知事告辭、兩議長の祝辭等があつて同十二時閉會式し、引き続き同所鈴木屋祝賀會場にて開宴、午後四時盛會裡に散會した。

因に本線路改修に關して最も功勞の多かつた府會議員高橋信汎氏は竣工前に逝去せられたので協賛會長は、親しく墓前に參拜して英靈を慰めた。(協賛會書記宮澤生)

知事告辭

府縣道第四五號線中野町地内道路改修工事竣功ヲ告ケ本日茲ニ開通ノ式典ヲ舉ケルハ本職ノ寔ニ欣快トスル所ナリ抑々本線ハ中野町ヲ起點トシ板橋町ニ通スル主要府縣道ニシテ一般交通上最も重大ナル使命ヲ有スルニ拘ラス道路ノ幅員狹隘屈曲甚タシク且勾配急峻ニシテ交通上ノ不便不穩本府夙ニ茲ニ鑑ミル所アリ曩ニ本道改修ノ議ヲ決シ工ヲ起シ銳意其ノ進捗ニ力メ今ヤ其ノ竣功ヲ見ルニ至ル惟フニ今後中野板橋間ノ交通

ハ其ノ面目ナ一新シ沿線地方ノ開發産業ノ發展ニ資スル處蓋シ少ナカラザルモノアルヘシ希クハ將來倍々本道ノ利用ヲ完フシ殖産興業ノ實ヲ舉ケ以テ長ニ其ノ效果ヲ收メラレンコトヲ盛典ニ臨ミ一言蕪辭ヲ述ヘテ告辭トナス

東 海 方 面

補助路線を整へ、

幹線着工機運を待つ

豊橋市では去る大正十四年以降道路の改修開鑿に全力を注ぎ、各方面に於ける市民の自發的要望に依つて、三十六路線に亘り約百八十萬圓の經費を以て、着々工事を進め魚指笠町線の擴張を始め既に完成せる路線も夥しく、今尙未完成で昭和三年度から三ヶ年度計畫を以つて、施工される向もあるが、一方都市計畫道路網に依る幹線の開鑿は市の大事業として、目下の所、何時之

に手を染められるか一向見當がつかぬ有様で、當面の問題としては市民の要求を満足せしめる爲、先づ之が補助路線と認められるもの、修築を急務とし市に於ても、與ふ限り此の方面に努力を傾注し、關係區民から數地の提供又は工事費の指定寄附或は受益者負擔等に俟つて益々道路の改善擴張を企圖して居るが、既定三十六路線以外に市土木課に於て調査されつゝある路線としては、札木本町通りの六間幅擴張其他に六線もあつて、之等は何れも近く具體化するものと見られ、行く／＼都市計畫幹線道路の着工までに尙十數路線を改修し、將來の大計畫に備へんとする方針である、殊に豊橋市内現在の道路は各方面共に屈曲甚しく、努めて之を直線に改善し、曲りなりにも都市としての外觀を整へ、以つて幹線道路施工着手の機運を促進せしむる意嚮である。

府縣道改良の着工は九月頃

愛知縣では六千萬圓の巨費を投ずる府縣道路改良計畫に就て、先づ明年度分九千萬圓の起債に關し森部庶務課長が交渉のため上京したが、道路課では其の實施設計をなすため陣容を整へ年度初めから直に調査に着手出来る様に努力してゐる、この六千萬圓の道路改良計畫も輪廓をなすのみで、實地調査は少しも行はれてゐないので、先づ初めの三年間六百五十萬圓に對する改良の實地調査を行ひ、最も急を要するものから實地設計をなし着工する筈であるが、この調査は大掛りのもので、短時日の中には到底不可能であるから、恐らく着工時期は九月頃になるであらう。

近畿方面

京都の御大典準備六十萬圓

を投じてアスファルト道路

京都府並京都市では總選舉終了後、各課

を擧げて御大典の事務に没頭してゐるが、今日まで決定した、府市施設は大體左の如くである。

一 鹵簿御通過筋中烏丸、丸太町通りは京都市において六十萬圓の豫算を投じアスファルト鋪裝工事を施行する計畫があるので市當局と打合せの上補修せしむ。

一 鹵簿御通過筋に撒布する白砂の選定は慎重に試験した上最適當のものを選び大體使當局と協議の上市にその撒布方を移達するが大體において厚さ一分乃至五分幅四間位撒布する豫定。

一 團體奉拜所として御着聲當日は丸太町通り堺町御門北側に延長百八十間、幅四間半の背面竹柵前面鐵杭棕櫚繩張の場所を設け御發聲當日は烏丸通り七十間に同様の設備をなす。

一 御着聲及御發聲當日烏丸通兩側に延長千九百四十間東側一間半の藁藁を敷き一般奉拜者の跪座席を設ける

一 京都驛前及御花前烏丸通、丸太町通に一間毎に長さ五尺の杉丸太杭木を立て杭木には紅白の布を巻き各區域間に棕櫚繩を張り東本願寺前には特に各區別間に八番鐵線を二段に張る

一 京都驛前廣場には三百七十餘坪の府出張所事務所三千六百人を收容し得る奉拜所三百五十坪の自動車その他の置場を設置、二條驛前にも府出張所自動車置場を設ける豫定である

神崎郡の道路共進會

兵庫縣神崎郡道路共進會審査會は、三月十二日午前十時開催されたが、成績調査に依れば左記の如く近く縣から授賞される、

- 一等賞 鶴居村
- 二等賞 越知谷村、八千種村
- 三等賞 瀬加村
- 四等賞 栗賀村、中寺村、香呂村
- 五等賞 田原村、長谷村、寺前村、甘

地村

加西郡の道路共進會

兵庫縣加西郡の縣主催道路共進會の二年度參加團體は三十六ヶ團體であるが、郡出品の第一次審査會を十三日午前十時各種團體聯合事務所で開催し、審査長の下に各審査員の審査の結果、左の八ヶ團體が入選した。

一等 なし

二等 大和村

三等 九舎村、下里村

四等 西在田村、賀茂村在田村青年團

上芥田支部

五等 富田村、富合村

大和村は昨年度も二等に受賞し、本年度も二等に當選したのであるが、採點數がもう二點あれば一等に入選する處であつた。

赤穂郡の道路共進會

地方通信

兵庫縣赤穂郡道路共進會第一次審査會は十八日午後一時から元郡衛跡で開催され左記の通り決定したが、近く第二次審査會を開き最後の決定を見る筈で、多少の變更あるかも知れない。

一等 矢野村愛護團

二等 船坂

三等 赤松

四等 那波、新濱、尾崎、鹽屋、高雄

五等 坂越

中國方面

産業道路の建設、縣下重要

道路を蜘蛛網狀に

廣島縣ではさきに縣會で問題となつた、十ヶ年繼續事業産業道路の建設をなすべく諸準備に着手してゐるが、初年度即ち昭和三年度の建設路線は廣島市を中心とする附近の國道である。元來産業道路は

廣島市——松江間、廣島市——鳥取間
廣島市——萩野間、廣島市——濱田間
三次町——尾道間、三次町——吳市間
三次町——福山間、福山市——米子間
廣島市——宇品間、福山市——岡山間
三次町——津山間、福山市——今市間

の十二幹線道路であつて之を十數本の放射狀線で、結びつけて全く縣下の重要道路を蜘蛛網狀に形ざらうといふのである、これが總里數は約三百里であつて該道路に編入さるべき道路は大體に於て、決定を見てゐる模様であるが縣では絶對秘密にしてゐる、この大計畫の着手に當つて縣では、既に起債の申請をしてゐるが、特に主務省に對して速かに起債認可方の交渉をなすため誰かが二十日前後に上京することになつた、産業道路建設に要する總經費は約一千萬圓であるが、内三百萬圓を國庫の補助に七百萬圓を起債に依ることとしてゐる、明年度支額額は

九十五萬七千五百圓で内七十萬圓を起債に二十五萬圓を國庫補助に更に七千五百圓を軌道會社の負擔としてゐるが

縣では七百萬圓の經費を年々起債せず總經費を三期に分ちて起債することゝしてゐる模様である、従つて明年度に於いて起債する第一回の起債總額は二百九十三萬千圓である。

廣島市の補助道路改修

廣島市が三年度からの繼續事業として計畫してゐる補助道路の改修は、過般伊藤助役が上京し起債その他につき關係各省の諒解を得て來てからいよ／＼具體的設計に入り、目下土木課で設計中であるが、市ではこの補助道路改修と共に都市計畫の幹線の設定をなす意圖をもつてゐる、補助道路改修費は約三百萬圓程度の豫定であつたのが調査の結果、約五百七、八十萬圓程度となり、これに都市計畫幹線設定費を加へるこ

約八百萬圓未滿になる模様で、繼續年數々年の豫定であつたのが經費の關係上、十ヶ年位とされるもの、やうである。

九州方面

大牟田市の道路擴張

福岡縣大牟田市の幹線道路中、殊に交通頻繁なる築町から上官町を経て、駛馬村萬田に至る府縣道及築町萬田線は、幅員僅か二間で高速度交通機關の運轉は危険であり重要幹線の意義をなさないので、縣では昭和三年度豫算に二萬圓を計上して、大擴張をなす計畫があり、大牟田市でも明年度に四千圓の寄附金を計上してゐるが、市の豫算が通過すれば明年度から着工する事になるらしく、該道路は延長約二哩現在の二間幅員を十間又は八間道路に擴張し、花園町方面から工事を初め一は築町方面に一は駛馬村方面に工事を進める豫定である。

府縣道や村道の大改修に

電話も通ずる

福岡縣では既定縣費で西新町から脇山村に至る府縣道のうち、脇山村入口附近は重要府縣道豫算費から改修を行ひ、大字大門下の中ノ橋から門戸口新築學校講堂附近に至る村道は、縣費三分の二補助を以て三間幅に擴張し、講堂脇から西に向け齋田に至る道路を新設し、更に門戸口から稗場に至る道路及仙道から南に権原に通ずる川沿ひの舊村道も齋田に至るまで、大修繕を加へることになつた。尙ほ既定縣費を支出して脇山村に至る町村電話をも急設することになつてゐる。